

研究の概要

20 25 年 5 月 26 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	MD-TESEにて精子を得られなかったが射出精子にて妊娠成立した1例
代表研究者 (所属・氏名)：	中岡 義晴
研究の目的：	MD-TESE（顕微鏡下精巣内精子採取）で精子を得られない症例でも、射出精液中に稀に運動精子が確認される場合がある。そのような症例では、射出精液中の運動精子を凍結保存し、体外受精（IVF）に利用することがある。当院でも同様の症例を経験したため報告する。
調査データ該当期間：	20 年 月 日 ～ 20 年 月 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	症例報告
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払う。患者試料を分析する際には、連結可能匿名化を行う。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い符号のみで取扱うため、個人情報は特定されないようにする。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反なし。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6978-8824 生殖技術部門 阪本 なつき
備考	